

課題	● 現在の人の流れに路線バス網が対応していないため、市内の移動が不便な状況であり市民のニーズ、人の流れに対応した路線バス網の形成と、交通弱者の活動を支える移動手段の確保が求められている。 ● 市民の移動実態をデータ等で把握ができておらず、交通網再編に苦慮している。	事業エリア /交通事業 (予定)	事業エリア:沖縄県南城市 バス:南城市Nバス、東陽バス タクシー:沖縄交通
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ● エリア内の路線バスとタクシーの利用が可能なMaaSアプリを導入。 ● 路線バス2社に対し端末導入を行いSF乗車対応を行いつつ、エリア内のバス、タクシー利用をセットにした企画乗車券を造成し、QRチケットによるデジタル認証を可能にする。 [モビリティ・データの取得と活用] ● エリア内のバス事業者、タクシー事業者から本企画券利用時の認証履歴から利用実績(ODデータ)を取得する。 ● ODデータを活用し、市内の周遊状況を可視化。公共交通網ハブの整備や、支線バス導入検討の資料として活用する。 [地域交通政策等との連携] ● 地域公共交通計画ではバス路線の再編および利用環境の充実、公共交通の利用喚起等の検討が示されており、MaaSアプリから取得したODデータや利用者情報を活用し、適正な運行本数やバス停位置、路線再編に活用する。	MaaS アプリ等	● MaaSプラットフォーム:ジョルダンモバイルチケットサービス ● タクシー配車連携システム:調整中
		データの 活用等	■ データの取得方法:MaaSアプリから利用者情報、バスのODデータを認証機から取得 ■ データの活用方法: ODデータや利用者情報を用いて、路線バスにおける路線再編や、利用環境、運賃体系などの改善、新たな交通体系の導入などの検討、実施に利活用
効果	● 本取り組みによる公共交通の利用促進および市内周遊促進 ● 交通再編への参考となる利用データの収集、利活用	座組	
事業の新規性	■ これまで未対応であったSF乗車の導入と、路線バスとタクシーとの連携によるマルチモーダルなMaaSチケットの提供	スケジュール	11月 要件定義 11月~1月 システム開発 2月 実証運行 2月~3月 効果測定

